

表 2.2-6 産業廃棄物受入基準

② 産業廃棄物の受入基準と受入体制

ア 受入基準

受け入れる種類は、埋立用材としての利用を考慮して、燃えがら、無機性汚でい、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉱さい、建設廃材、ダスト類、第13号廃棄物の10種類の産業廃棄物及び建設残土に限定する。

また、環境保全、安全対策及び作業性を考慮して、無害かつ安全なものを受け入れることにする。

この受入基準は、表2.2-6及び表2.2-7のとおりである。

イ 受入体制

産業廃棄物の受け入れに際し、受入基準を徹底するため、次の体制をとる。

ロ 契約の実施

産業廃棄物の最終処分場設置者は、産業廃棄物の受け入れに当たって、あらかじめ、排出事業者、収集運搬業者の間で産業廃棄物の埋立処分に関する委託契約を行う。

特に、燃えがら、無機性汚でい、鉱さい、ダスト類及び第13号廃棄物を受け入れる場合は、排出事業者から溶出試験成績表及びサンプルの提出を求め、事前に無害かつ安全の確認を行った後、契約を行うことにする。

リ 受入時の確認

設置者は産業廃棄物の受入時に収集運搬業者から排出事業者名、産業廃棄物の種類、量等を記載した書類を提出させ、この確認を全搬入車両について行う。また、適宜、産業廃棄物を抜き取り、溶出試験を実施する。

種 類		受 入 基 準	
個 別 受 入 基 準	共通受入基準	1. 引火性、発火性、爆発性、有毒ガス発生等のある廃棄物の搬入禁止 2. 発色性、発泡性、油膜等の生じる廃棄物の搬入禁止 3. 腐敗性廃棄物の搬入禁止 4. 取扱い困難な廃棄物の搬入禁止 5. 環境保全上支障のある廃棄物の搬入禁止	
	燃えがら	1. 判定基準値以下であること 2. 熱しゃく減量15%以下であること 3. 火気を帯びていないこと 4. 水に浸漬した場合に浸出液が著しい色を呈しないこと 5. 著しい飛散性、臭気がないこと	
	無機性汚でい	1. 判定基準値以下であること 2. 有機性のものでないこと 3. 含水率85%以下であること 4. 水に浸漬した場合に浸出液が著しい色を呈しないこと 5. 著しい臭気がないこと	
	廃プラスチック類	1. 中空でない状態であること 2. 最大径おおむね15cm以下であること 3. 水に浸漬した場合に浸出液が著しく発泡しないこと 4. 著しい飛散性を有しないこと	
	ゴムくず	1. 中空でない状態であること 2. 最大径おおむね15cm以下であること	
	金属くず	1. 中空でない状態であること 2. 最大径おおむね50cm以下であること 3. 油が付着していないこと	
	ガラスくず及び陶磁器くず	中空でない状態であること	
	鉱さい	1. 判定基準値以下であること 2. 最大径おおむね50cm以下であること 3. 火気を帯びていないこと	
	建設廃材	1. 中空でない状態であること 2. 最大径おおむね50cm以下であること 3. 木くずが混入していないこと	
	ダスト類	1. 判定基準値以下であること 2. 大気中に飛散しないように、梱包する等必要な措置が講じられていること 3. 含水率85%以下であること	
第 13 号 廃 棄 物	第13号廃棄物	1. 判定基準値以下であること 2. 最大径おおむね50cm以下であること	
	建設残土	1. 木片、ごみ等を含まないこと 2. 水分を多量に含まないこと	